光村の美術教科書ラインアップ

NEW

美術 1
38光村 美Ⅰ 038-901



美術 2
38光村 美Ⅱ 701



美術 3
38光村 美Ⅲ 701



著作者
酒井忠康［美術評論家］

伊藤有壱
［アニメーション作家・東京藝術大学大学院教授］
岩佐まゆみ［大分県立爽風館高等学校指導教諭］
上野行一［元高知大学教授］
O JUN［画家・東京藝術大学名誉教授］
川上典李子
［デザインジャーナリスト・
21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター］
川村真司［クリエイティブディレクター］
柴田文江［プロダクトデザイナー・多摩美術大学教授］
菅沼 聖［山口情報芸術センター主任エデュケーター］
杉戸 洋［画家・東京藝術大学教授］
鈴木雅之
［宮城県柴田郡大河原町立金ケ瀬中学校教諭］
タカザワケンジ［写真評論家］
立川公子［神奈川県立多摩高等学校教諭］
丹羽 裕［宮城県鹿島台商業高等学校校長］
直江俊雄［筑波大学教授］
中島千波［日本画家・東京藝術大学名誉教授］
名取和幸
［色彩学研究者・一般財団法人日本色彩研究所常務理事］
藤原えりみ［美術ジャーナリスト］
保坂健二朗［滋賀県立美術館ディレクター］
三沢厚彦［彫刻家・武蔵野美術大学教授］
水沢 勉［美術評論家・女子美術大学客員教授］
森山明子
［神戸芸術工科大学副学長・同大学大学院教授］
安村敏信［一般財団法人北斎館館長］
渡辺晋輔［国立西洋美術館学芸課長］

カラーユニバーサルデザインに関する校閲
市原恭代
［工学院大学准教授・
NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構（CUDO）理事］

特別支援教育に関する校閲
氏間和仁［広島大学大学院教授］

編集協力
後藤 晋［元岡山県立岡山芳泉高等学校教諭］
照屋詩子［東京都立片倉高等学校教諭］
別所洋輝［岐阜県立加納高等学校教諭］

教授資料のご案内　作品解説から指導案まで、充実の内容で指導をサポート。

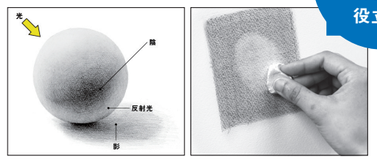
『令和8年度版 高等学校 美術1 教授資料』　※教授資料は現在編集中のため、内容が変わる可能性があります。

［主な内容］（予定）
- 年間指導計画のための資料
- 掲載作品・作家解説
- 教科書題材に沿った学習指導案
- ポスター（美術史一覧）
- デジタル教材
  （解説動画や技法動画、
  技法資料の図版、
  ワークシート集など）

充実のデジタル教材

テストやワークシートの作成に役立つ！

技法資料の図版を収録!
図版のデータをダウンロードできます。



『高等学校 美術2 教授資料』
38光村 美Ⅱ 701 対応



［主な内容］
- 年間指導計画のための資料
- 掲載作品・作家解説
- 教科書題材に沿った学習指導案
- デジタル教材
  （解説動画や技法動画、
  作家・作品関連動画、
  ワークシート集など）

A4判・104頁
8,800円（税込）
ISBN 978-4-8138-0410-9

『高等学校 美術3 教授資料』
38光村 美Ⅲ 701 対応



［主な内容］
- 年間指導計画のための資料
- 掲載作品・作家解説
- 教科書題材に沿った
  学習指導案

A4判・56頁
4,950円（税込）
ISBN 978-4-8138-0568-7



子どもたちの未来のために、光村図書は、教科書の作成にあたって、次のような配慮や工夫をしています。
・カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から、全てのページについて専門家による校閲を行っています。
・見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
・環境に配慮した紙、植物油インキを使用しています。
・生徒の負担を軽減するため、堅牢で薄い紙を使用しています。

内容解説資料

発行者：吉田直樹
発行所：光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎 2-19-9
電話：03-3493-2111（代表）

印　刷：梅田印刷株式会社
デザイン：渋井史生［PANKEY inc.］
イラスト：SANDER STUDIO、
海道建太、朝野ペコ
撮　影：竹達照夫

LINE公式アカウント友だち募集中!
授業に役立つ情報を、いち早くお届けします。

光村図書ウェブサイト
光村図書　検索

※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

光村図書

編集の趣旨と特色

令和8年度版　高等学校「美術1」



光村図書

内容解説資料

本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。



一生ものの、美術の力を。

［目次］

学びが広がる **紙面構成** —— 4

POINT 1 基本が身につく「**鉛筆BOOK**」 —— 6

POINT 2 楽しく学べる **美術史年表** —— 8

POINT 3 質感が味わえる **鑑賞題材** —— 10

POINT 4 わかりやすい **巻末資料** —— 12

教科書を知る7つのキーワード —— 16

QRコンテンツのご紹介 —— 18

令和8年度 **教科書の題材構成** —— 20

令和8年度版教科書 **検討の観点と内容の特色** —— 21



撮影：**川島小鳥**（かわしま こ とり）

写真家。1980年東京都生まれ。
主な作品集に『未来ちゃん』(2011年)、『明星』(2014年)など。
第42回講談社出版文化賞写真賞、第40回木村伊兵衛写真賞を受賞。
令和8年度版高等学校『美術1』P.2〜3の写真の撮影を担当した。

学びが広がる 紙面構成

一つの題材から、さまざまな学びにつなげられるよう、紙面構成に工夫を凝らしています。

美術史ワード

題材に関連する美術史用語をわかりやすく解説しています。年表とのリンクも示しているので、必要に応じて美術史を確認することができます。

美術史ワード
シュルレアリスム

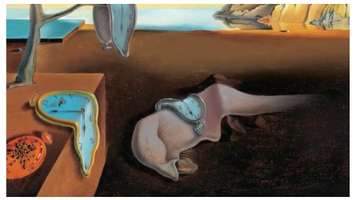
夢や無意識の世界を表現しようとした芸術運動。心の中のイメージをそのまま表す「オートマティスム」や、無関係なものを組み合わせる「デペイズマン」などの手法で、理性に頼らずに心の奥の真実を描き出そうとした。ルネ・マグリットやサルバドール・ダリが代表的な作家。

▶P.42〜44　西洋美術史年表

「シュルレアリスム」の解説動画を見てみよう。

解説動画

QRコードから詳しい解説動画を視聴して、さらに理解を深めることができます。



解説動画　シュルレアリスム
シュルレアリスムのさまざまな作家や作品、用いられた手法などについて解説しています。

授業をさまざまに展開できる構成になっています。



目標

題材で身につけたい力を、端的な文章でまとめました。







P.16〜17「**想像した世界を描く**」

解説動画で、美術史用語を５分程度でわかりやすく解説しているよ！



全国の生徒作品

QRコードから、題材に関連する、多様な生徒作品を見ることができます。



巻末資料へのリンク

関連する巻末資料へのリンクを示しています。

自分の表現に生かせそうだね！



発想のヒント

作品を発想するときのヒントになるよう、発想のしかたが異なる生徒作品を紹介したり、発想の手だてを掲載したりしています。



POINT 1

基本が身につく「鉛筆BOOK」

鉛筆デッサンは表現の基本。
鉛筆の削り方から石膏(せっこう)デッサンまで、
鉛筆の扱い方やさまざまな表現を幅広く学べるようにしました。



鉛筆の全てがわかる!



鉛筆は、私たちにとって
最も身近な画材の一つだ。
基本的な使い方や
描き方を押さえて、
表現の幅を広げよう。

鉛筆 BOOK

鉛筆の使い方や技法などの資料を見てみよう。

芯の種類

鉛筆は10H〜10Bまで硬さの種類がある。
表現に合わせて使い分けよう。

硬い(濃い)
6H
5H
4H
3H
2H
H
H Hard(硬い)
F
F Firm(しっかりした)
HB
B
2B
3B
4B
5B
6B
B Black(黒い)
やわらかい(濃い)

削り方

デッサンでは、芯の先端と側面の両方を使うため、カッターで芯の部分を長く出して削るとよい。

持ち方

持ち方によって線の強弱や色の濃淡など、さまざまな表現ができる。

寝かせて持つ
やわらかい、太い線が引ける。手首が自由に動かせるので、おおまかに描くときや広い面を塗るときに適している。

立てて持つ
文字を書くときと同じ持ち方。ハッチング(陰影をつけるために細い線を平行に描くこと)をしたり、細部を描いたりするときに適している。

長めに持つ
鉛筆の下の部分を優しく持つと、大きく腕を動かして描くことができる。また、筆圧の弱い、やわらかい調子をつけることができる。

81

P.81「鉛筆BOOK」



描き込みやすい用紙を採用



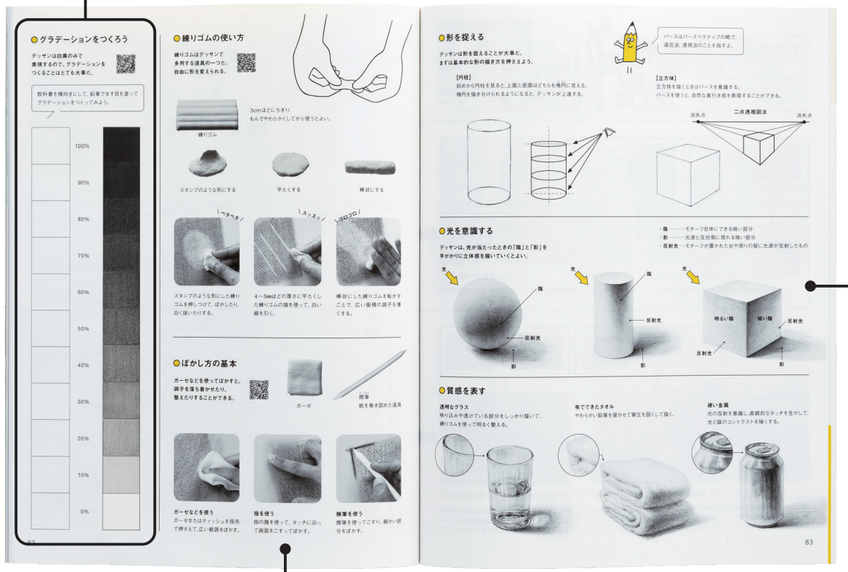
「鉛筆BOOK」には、描き込みやすい用紙を使っています。教科書に直接塗って、自分でグラデーションをつくることができます。

鉛筆の動画だけで10本!

1. 鉛筆の削り方
2. 鉛筆の持ち方
3. グラデーションをつくる1
4. グラデーションをつくる2
5. 練りゴムの使い方
6. ぼかし方の基本
7. リンゴを描く
8. 質感の異なるものを描く
9. 石膏像を描く
10. 手を描く





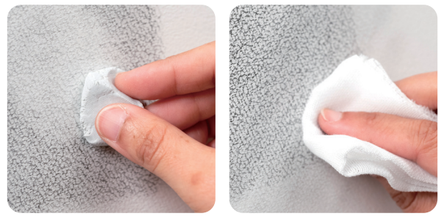


P.82〜83「鉛筆BOOK」

デッサンの基礎である 形 光 質感 を丁寧に解説

用具の使い方を詳しく

練りゴムの使い方、ガーゼを使ったぼかし方など、鉛筆デッサンに欠かせない基本的な用具の使い方を掲載。





鉛筆デッサンの基本を徹底的に学べるページだよ。

POINT 2

楽しく学べる 美術史年表

美術史を知ると、美術はもっとおもしろくなる。西洋美術、日本美術、デザイン、
写真、映像表現、全ての分野に年表を用意し、ポイントをわかりやすく示しました。



美術史の流れがひと目でわかる

美術史を概観できるよう、見開きで年表を掲載しました。
詳しい用語解説はＱＲコードから見ることができます。

キャラクターが解説

楽しいキャラクターが
美術史のポイントを解説します。

重心を片足にかけたポーズを「コントラポスト」とよぶ。その後の人体表現に影響を与えたよ。



1 P.42～44「西洋美術史 年表」

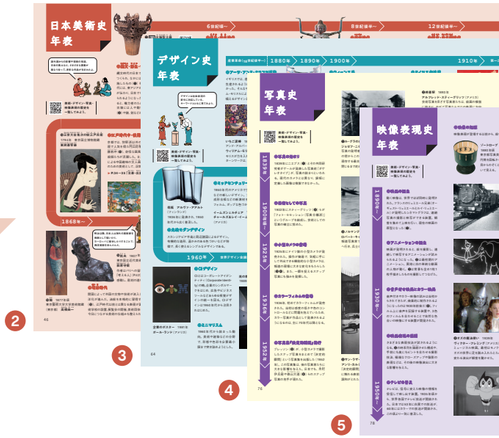


題材へのリンク

▶P.9「風景を描く」

題材へのリンクを示しているので、
関連づけて指導することができます。





分野ごとの年表を用意しました!

題材や作品と関連づけて指導しやすい構成です。

1. 西洋美術史 年表（P.42～45）
2. 日本美術史 年表（P.46～47）
3. デザイン史 年表（P.64～65）
4. 写真史 年表（P.76～77）
5. 映像表現史 年表（P.78～79）

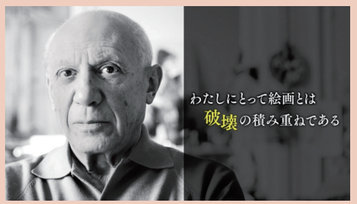


解説動画でもっと詳しく

美術史用語や作家、
作品について、詳しい解説動画を
視聴することができます。



- ルネサンス
- レオナルド・ダ・ヴィンチ
- ジャポニスム
- 印象主義
- ポスト印象主義
- キュビスム
- パブロ・ピカソ
- マルセル・デュシャン「泉」
- シュルレアリスム
- 「火焔型土器」
- 「四天王立像」
- 琳派
- 伊藤若冲
- 「樹花鳥獣図屏風」
- 岡本太郎「太陽の塔」



解説動画 パブロ・ピカソ



解説動画 マルセル・デュシャン「泉」



年表で美術史を大まかにつかんだ後、
解説動画でさらに理解を深められるよ。

POINT 3

質感が味わえる 鑑賞題材

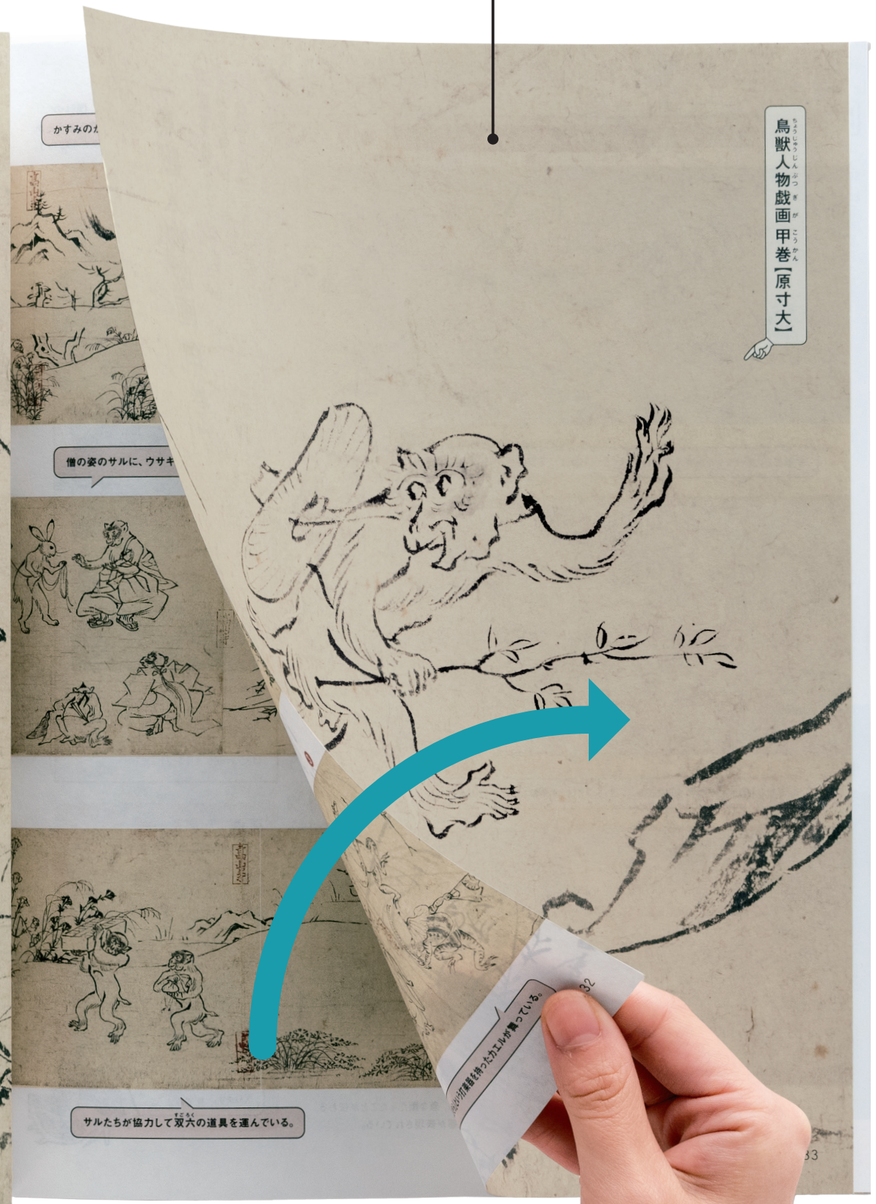
本物に近い風合いで日本美術の作品を鑑賞できるよう、和紙風の用紙に印刷しました。
「鳥獣人物戯画」の中でも特に人気のある甲巻を、始めから終わりまですべて掲載しています。

和紙のような風合い

高級用紙に印刷

本物に近い風合いを再現するため、越前和紙の風合いをもつ高級用紙に印刷しました。実際に手で触ってみると、質感の違いがよくわかります。





P.28、33「鳥獣人物戯画 甲巻」

作品の質感が伝わってくるね！

動物たちの生き生きとした表情がよくわかるね！

原寸大でじっくり鑑賞

「鳥獣人物戯画 甲巻」の人気の場面を、原寸大で掲載。勢いのある筆づかいをじっくり鑑賞できます。

解説動画でもっと詳しく

「鳥獣人物戯画」の構成、絵巻物の鑑賞のしかたなどを詳しく解説しています。

解説動画「鳥獣人物戯画 甲巻」



作品全体の構成を紹介。



絵巻物の鑑賞方法を紹介。



「鳥獣人物戯画」の特徴を丁寧に解説。

ページをめくると……

「鳥獣人物戯画 甲巻」を全て見られます。



POINT 4

わかりやすい 巻末資料

高校の美術で使われるほぼ全ての技法を掲載。
技法のポイントがひと目でわかるように、レイアウトを工夫しています。

動画で確認

QRコードから技法の手順をわかりやすくまとめた動画を視聴できます。

使う道具をわかりやすく

その技法で使う用具を1点ずつ撮影し、整理して配置しました。



吹き出しでワンポイントアドバイス

各手順のポイントを吹き出しでわかりやすく示しました。

手順が横一列でわかりやすい!

さらに詳しく

用具の使い方などを、写真を使って詳しく解説しています。

パレットの使い方から手厚く解説しているよ！





P.92〜93「油絵の具で描く」

片づけ方も動画で確認

高校で初めて油絵の具を扱う生徒のために、片づけ方も動画で詳しく解説しています。



技法資料一覧

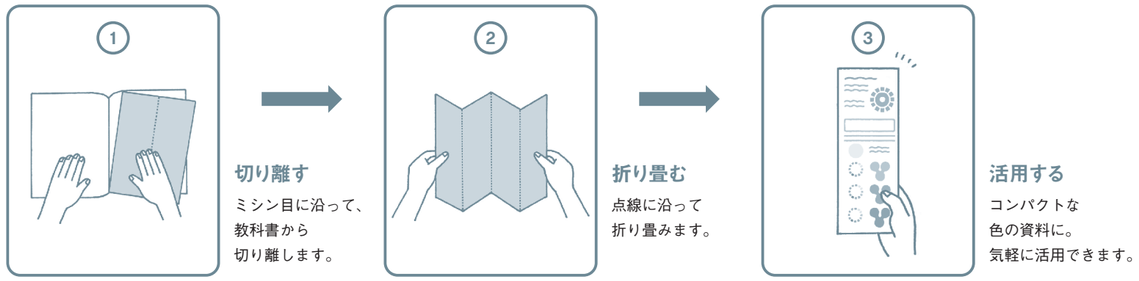
- 鉛筆BOOK (P.81〜88)
- 水彩絵の具で描く (P.90〜91)
- 油絵の具で描く (P.92〜93)
- アクリル絵の具で描く (P.94〜95)
- 日本画の絵の具で描く (P.96〜97)
- 版画の技法 (P.98〜101)
- 彫刻（塑造）の技法 (P.102〜103)
- 文字をデザインする (P.104〜105)
- 漫画表現の技法 (P.106〜107)
- 写真を撮影する (P.108〜109)
- 映像を制作する (P.110〜111)
- 発想の広げ方 ① (P.112〜113)
- 発想の広げ方 ② (P.114〜115)

POINT 4

わかりやすい **巻末資料**

切り離し式「混色のヒント&トーン別カラーガイド」

新版教科書では、表現・鑑賞どちらにも活用できる、色の資料が充実しています。
巻末には切り離し式資料も用意しました。



切り離す
ミシン目に沿って、
教科書から
切り離します。

折り畳む
点線に沿って
折り畳みます。

活用する
コンパクトな
色の資料に。
気軽に活用できます。

表面 絵の具の混色に

色相環を意識して、どのような色になるか考える資料です。
折り畳むと、絵の具セットと一緒に保管できます。

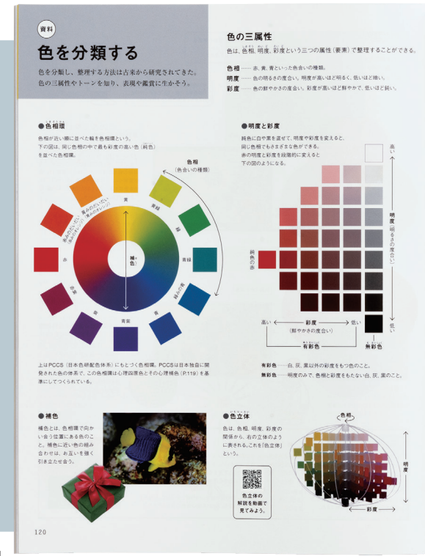




色の資料は **14** ページ!

- **色の仕組み**（P.118〜119）
- **色を分類する**（P.120〜121）
- **色の効果**（P.122〜123）
- **さまざまな配色**（P.124〜125）
- **日本と世界の伝統色**（P.126〜127）
- **混色のヒント**（切り離し式）
- **トーン別カラーガイド**（切り離し式）





P.120「色を分類する」

裏面 デジタルでの制作に

CMYK値、RGB値、HTMLカラーコードを示しました。
デジタルで制作するときに便利な資料です。





教科書を知る 7 つのキーワード

今日的な教育課題への対応や生徒の資質・能力の育成のため、内容や構成を工夫しました。

1 「作家の手法」

生徒の発想や構想のヒントになるよう、作家が作品をどのように発想し、どうつくりあげていくのかを詳しく紹介しました。

作家の言葉

発想の方法や制作の際に大切にしていることについて、作家自身の言葉で説明しています。

制作過程を詳しく紹介

普段は目にすることのできない制作の裏側を、写真や文章で丁寧に解説しています。

作家の手法 一覧

- 画家 **池田 学**（P.18〜19）
- 美術家 **塩田千春**（P.39）
- デザイナー **皆川 明**（P.57）
- デザイナー **柴田文江**（P.61）
- クリエイティブディレクター **川村真司**（P.75）

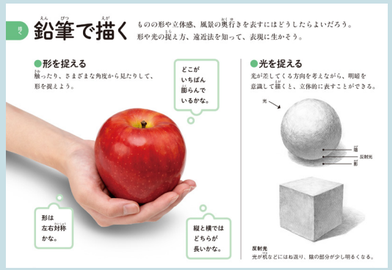


P.61「**作家の手法 柴田文江**」

2 中学校美術科との接続

中学校で学んだ内容を振り返りながら、さらに学びを深められるように配慮し、編集しました。

中学校

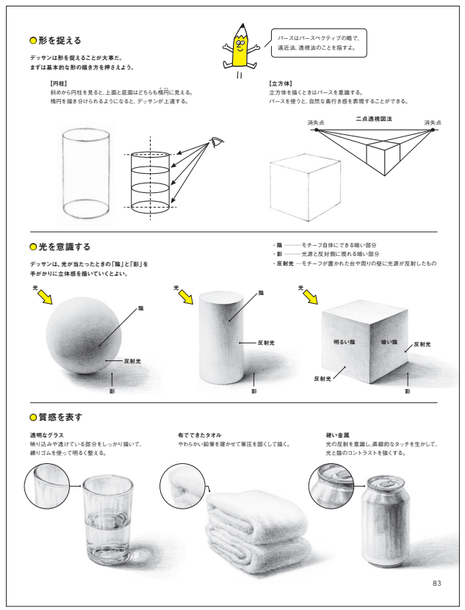


令和7年度版『美術1 資料』（光村図書）

P.4「**鉛筆で描く**」

形や光の捉え方について、美術に苦手意識のある中学生にもわかるよう、簡潔に解説しています。

高等学校『美術1』

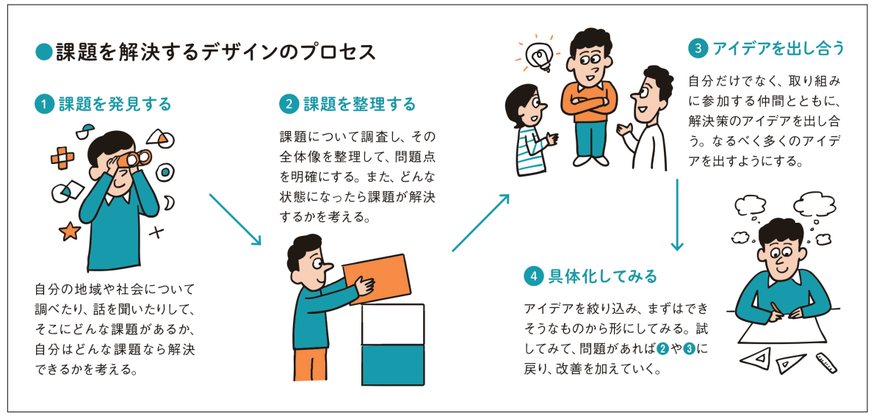


P.83「**鉛筆BOOK**」

中学校で学習した内容を掲載しながら、パースへの意識や質感の表し方を新たに扱うなど、鉛筆を使った描き方についてより詳しく解説しました。

3 課題解決

社会の抱える課題を生徒が主体的に調査し、解決方法を考える題材を設けました。「総合的な探求の時間」をはじめ、美術以外の授業にもつながる内容です。



P.62「**社会の仕組みをデザインする**」

4 多様性

多様性に配慮して掲載作品を選定し、さまざまな国や地域の作家を掲載しました。また、アール・ブリュットを扱う題材を新しく設けました。



P.20「**アール・ブリュットの世界**」に掲載したアロイーズ・コルバスの作品。

5 ポップカルチャー

巻末に、漫画の制作過程や技法を紹介する資料を設けました。また「アニメーションをつくる」（P.72〜73）の題材では、バスケットボール部で活躍する高校生たちを描いた映画「THE FIRST SLAM DUNK」を1ページで紹介しました。



P.106〜107「**漫画表現の技法**」では、美術の道をめざす高校生が主人公の漫画『ブルーピリオド』の制作過程を紹介しています。

6 著作権や肖像権

作品には著作権があることや、写真や映像を撮るときは著作権や肖像権に十分に配慮する必要があることを、注意喚起のマークとともに示しました。

著作権を尊重しよう

授業内の使用などを除き、写真や映像、音楽などの著作物は、著作権者の許可なく使用できないよう、法律で保護されている。ルールを守って作品を制作、公開しよう。

P.110「**映像を制作する**」

7 使いやすい工夫

どの作家がどのページに載っているのかがすぐにわかるよう、人名索引を新設しました。作品を掲載した作家だけでなく、文章で触れた作家まで網羅しています。

人名索引

あ
アアルト，アルヴァ …… 64
アナツイ，エル …… 38
アレン，ウィリアム・ヴァン …… 65
アン・ジュン …… 113
アングル，ドミニク …… 42
安藤忠雄（あんどうただお） …… 64
李 度宗（イ・ドゥジョン） …… 107

P.80「**人名索引**」

QRコンテンツのご紹介

題材や資料ページに掲載されたＱＲコードは、多種多様なコンテンツにリンクしています。

➡ 詳しくは別資料「学びを深めるＱＲコンテンツ」へ。

全てのＱＲコンテンツを
こちらからご覧いただけます。

表現を支える 技法動画 全20本

高校でよく使われる技法を網羅しました。

技法のポイントが押さえられる!



水彩絵の具で風景を描く
(P.90)



アクリルガッシュで
ポスターを制作する (P.95)



粘土で手の彫刻をつくる
(P.102)

鑑賞が深まる 解説動画 全20本

高校生に知ってほしい美術史用語、
作家や作品をわかりやすく解説しました。

● 美術史用語解説



印象派
(P.9、P.42)

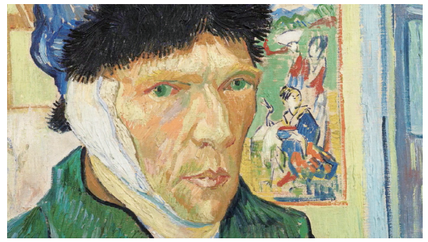
わかりやすく
5分
で解説

● 作品解説



しょこくたきめぐ
諸国瀧廻り
しもつけくろかみやま
下野黒髪山
きりふりの滝
かつしかほくさい
葛飾北斎
(P.35)

● 作家解説



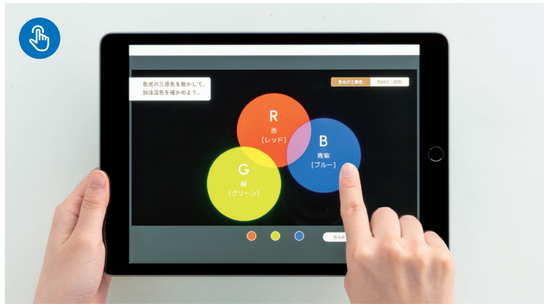
フィンセント・
ファン・ゴッホ
(P.22)

光村の動画コンテンツには、
生徒が自分のペースで
視聴できる機能が搭載されています。

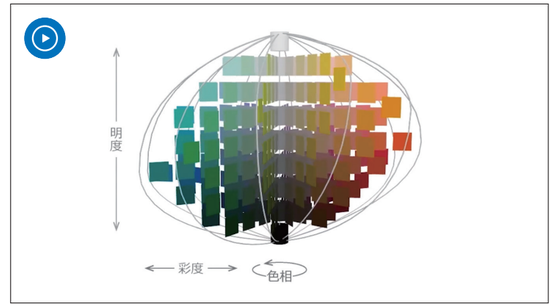
- 字幕のON/OFF　※ナレーションのある動画のみ
- 再生速度の変更
- チャプター機能　※一部の動画のみ

表現・鑑賞に役立つ 色の資料 全5本

色への理解が深まる、
オリジナルコンテンツを用意しました。



三原色体感ツール (P.119)
画面上で三原色を動かして、
加法混色・減法混色の仕組みを学べるツールです。



色の三属性と色立体 (P.120)
色相、明度、彩度の関係性を
わかりやすいＣＧ動画にまとめました。

全国の生徒作品 約500点

全国の高校生の作品を集めました。
参考作品としてご活用ください。

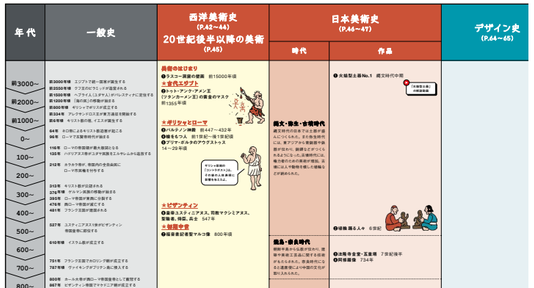
全作品に作者の言葉を掲載



風景を描く
(P.8)

美術史年表

西洋美術史・日本美術史・デザイン史・写真史・
映像表現史を関連づけて見ることができます。



作家・作品関連動画 全6本

掲載作品の制作過程や、
作品に関連した映像を見ることができます。



エマニュエル・ムホー「100 colors no.35」
(P.128)

美術史用語 全42項目

美術史年表に掲載されている用語について、
詳しく解説しています。

発想を広げるツール 全10種

表現・鑑賞に役立つ、
発想を広げるためのツールを
豊富に用意しました。
PDF版とJPG版をダウンロードできます。

発想を広げるツール
(P.114)

令和8年度 教科書の題材構成

※●は表現や鑑賞の題材、■は鑑賞中心の題材、★はオリエンテーションを示している。

美術1（38光村 美Ⅰ038-901）

分野等		題材	ページ
はじめに	★	目次／前書き	P.2〜3
絵画・彫刻	★	絵画・彫刻の扉	P.4〜5
	●	身近なものを描く	P.6〜7
	●	風景を描く	P.8〜11
	■	作品を読み解く 「グランド・ジャット島の日曜日の午後」	P.12〜15
	●	想像した世界を描く	P.16〜17
		作家の手法　池田 学	P.18〜19
	■	アール・ブリュットの世界	P.20〜21
	●	自己を表す　※映像メディア表現を含む	P.22〜25
	●	墨で描く	P.26〜27
	■	作品を読み解く「鳥獣人物戯画 甲巻」	P.28〜33
	■	北斎・広重から広がる世界	P.34〜35
	●	人の姿を捉える	P.36〜37
	●	集めてつくる	P.38〜39
		作家の手法　塩田千春	P.39
	■	私たちに問いかける美術	P.40〜41
	西洋美術史年表		P.42〜44
	20世紀後半以降の美術		P.45
	日本美術史年表		P.46〜47
デザイン	★	デザインの扉	P.48〜49
	●	伝えるデザイン	P.50〜53
	●	暮らしを豊かに彩る文様	P.54〜57
		作家の手法　皆川 明	P.57
	●	魅力的なパッケージをつくる	P.58〜59
	●	暮らしやすさのデザイン	P.60
		作家の手法　柴田文江	P.61
	■	社会の仕組みをデザインする	P.62〜63
	デザイン史年表		P.64〜65
映像メディア表現	★	映像メディア表現の扉	P.66〜67
	●	写真で表す	P.68〜71
	●	アニメーションをつくる	P.72〜73
	●	記憶に残る映像をつくる	P.74
		作家の手法　川村真司	P.75
	写真史年表		P.76〜77
	映像表現史年表		P.78〜79
	人名索引		P.80
資料	《鉛筆BOOK》		P.81〜88
	資料の扉		P.89
	水彩絵の具で描く		P.90〜91
	油絵の具で描く		P.92〜93
	アクリル絵の具で描く		P.94〜95
	日本画の絵の具で描く		P.96〜97
	版画の技法		P.98〜101
	彫刻（塑造）の技法		P.102〜103
	文字をデザインする		P.104〜105
	漫画表現の技法		P.106〜107
	写真を撮影する		P.108〜109
	映像を制作する		P.110〜111
	発想の広げ方①		P.112〜113
	発想の広げ方②		P.114〜115
	美術館を楽しむ		P.116
	鑑賞の手がかり		P.117
	色の仕組み		P.118〜119
	色を分類する		P.120〜121
	色の効果		P.122〜123
	さまざまな配色		P.124〜125
	日本と世界の伝統色		P.126〜127
	切り離し式資料　混色のヒント／トーン別カラーガイド		P.129〜132
	後書き		P.128、133

美術2（38光村 美Ⅱ701）

分野等		題材	ページ
はじめに	★	目次／前書き	P.2〜3
	★	作家の手法　オラファー・エリアソン	P.4〜5
絵画・彫刻	■	［比べて鑑賞する］花を描く	P.6〜7
	●	人物を描く	P.8〜9
	●	人の形を追求する	P.10〜11
	■	祈りの場を彩る	P.12〜13
		システィーナ礼拝堂　天井画	P.14〜19
	●	心の中の風景	P.20〜21
	●	版表現の可能性	P.22、24〜25
		作家の手法　風間サチコ	P.23
	■	抽象への誘い	P.26〜27
	■	素材と向き合う	P.28〜29
		作家の手法　青木野枝	P.30〜31
	■	不思議な空間をつくる	P.32〜33
デザイン	●	トータルデザインを考える	P.34〜35
	■	［作家の生涯と作品］亀倉雄策	P.36〜37
	●	問題解決のためのデザイン	P.38〜39
		作家の手法　山中俊治	P.40〜41
	■	［比べて鑑賞する］椅子のデザイン	P.42〜43
	●	住まいをデザインする	P.44〜45
		作家の手法　隈 研吾	P.46〜47
映像メディア表現	●	風景を撮影する	P.48〜50
		作家の手法　畠山直哉	P.51
	■	採集するように撮影する	P.52〜53
	●	ミュージックビデオをつくる	P.54〜55
資料	写真撮影の基本		P.56〜57
	写真を編集する		P.58〜59
	漫画表現の技法		P.60〜61
	アニメーションの歴史		P.62〜63
	絵に隠された謎を読み解く		P.64〜65
	学習を支える資料一覧		P.66〜67
	切り離し式資料　トーン別カラーガイド		P.69〜72
	後書き		P.68、73

美術3（38光村 美Ⅲ701）

分野等		題材	ページ
はじめに	★	目次／前書き	P.2〜4
	★	私と美術	P.5〜7
絵画・彫刻	●	鉛筆の可能性	P.8〜9
	■	［作家の生涯と作品］フリーダ・カーロ	P.10〜11
	■	［比べて鑑賞する］俯瞰で描く 「洛中洛外図屏風」「百貨店圖 日本橋三越」	P.12〜15
	●	ものからの問いかけ	P.16〜17
	■	自然との対話	P.18〜19
デザイン	■	世界の美術館と出会う	P.20〜21
	■	ウェブデザインを考える	P.22
		作家の手法　中村勇吾	P.23
	●	本をデザインする	P.24〜25
映像メディア表現	●	演出して撮る	P.26〜27
	■	映像を体感する	P.28〜29
資料	社会を支える美術の仕事		P.30〜33
	ポートフォリオをつくる		P.34〜35
	美術館の役割		P.36〜37
	学習を支える資料一覧		P.38〜39
	後書き		P.40〜41

令和8年度版教科書

検討の観点と内容の特色 高等学校用 美術1

種目	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
美術Ⅰ	美術1	38 光村	美Ⅰ 038-901	光村図書出版

項目	観点	特色・具体例		該当ページ
❶内容の選択・程度	◎学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ◎基礎的、基本的事項の理解や、その習得のため、適切な配慮がなされているか。	題材、資料、学習活動全般に、学習指導要領に示された「美術Ⅰ」の目標・内容が踏まえられており、生徒が「造形的な見方・考え方を働かせ」て、「生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力」を育成できるよう工夫されている。		教科書全般
		A表現・B鑑賞の題材がバランスよく適切に配置されている。また、全ての題材でA表現・B鑑賞を相互に関連させながら学習が深められるよう配慮されている。		
		日本や西洋の美術だけにとどまらず、幅広い地域や時代の作品が多角的に取り上げられており、生涯にわたり美術を愛好する心情を育み、感性を高め、美術文化について理解が深まるよう配慮されている。		
		各題材や巻末にまとめられた資料では、作品をつくるときの手がかりや基礎的な技法が具体的に示されており、これらを活用することで、生徒が主体的に学習に取り組み、基礎的、基本的な事項を身につけられるよう配慮されている。		
❷組織・配列・分量	◎内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 ◎中高の接続に対する配慮がなされているか。	題材	題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現の分野別に整理され、バランスよく配置されている。内容がひと目でわかるようインデックスで色分けされており、学習指導を進めるうえで使いやすいよう工夫されている。	教科書全般
			各題材では学習のねらいを示した目標が記されており、学習指導を効果的に進めることができる。	教科書全般
			関連する美術史用語をわかりやすく解説する「美術史ワード」が随所に設けられている。年表とのリンクが示されており、必要に応じて美術史における位置づけを確認させることができる。	P.9、14、16、34
			表現や鑑賞の題材の随所に、作品を発想し制作する際に参考になる「発想のヒント」が設けられており、発想のしかたが異なる生徒作品や、発想の手だてが紹介されている。	P.11、17、24、26、51、59、69
			表現や鑑賞の題材には、「作家の手法」というページが設けられており、生徒が作品の主題を生み出す手がかりとできるよう、作家の発想や制作過程が詳しく示されている。	P.18〜19、39、57、61、75
			アール・ブリュットの作品を鑑賞する題材や、アジア、アフリカの作家の作品が大きく取り上げられている題材など、美術の多様性を感じさせる作品が多く掲載されている。	P.20〜21、38、40〜41
			屏風や絵巻物、浮世絵が和紙風の用紙に印刷されており、本物に近い風合いで鑑賞することができる。	P.27〜34
			バブロ・ピカソ、葛飾北斎など、中学校美術科で扱った作家についてさらに深く学べるように、美術史的な背景や、後世の作家への影響などを紹介している。	P.4〜5、23、34〜35
		資料	各分野の最後に西洋美術、日本美術、デザイン、写真、映像表現、それぞれの年表が用語の解説とともに掲載されており、各ジャンルごとに歴史を概観することができる。また、題材へのリンクが示されているので、関連づけて指導することができる。	P.42〜45、46〜47、64〜65、76〜77、78〜79
			描き込める紙に印刷された8ページの「鉛筆BOOK」が設けられている。中学校美術科で学習したことをふまえ、鉛筆の削り方から石膏デッサンまで、表現の基礎となる鉛筆に関わる技法を幅広く学ぶことができる。	P.81〜88
			巻末には「水彩絵の具で描く」「油絵の具で描く」などの技法についての資料がまとめられており、制作の流れや用具の使い方を適宜参照しながら学習指導を進めることができる。	P.89〜111
			「発想の広げ方」では、発想を生み出し、広げるためのさまざまな方法が紹介されている。また、発想を広げるツールも紹介されており、表現や鑑賞に役立てることができる。	P.112〜115
			色彩に関する資料が計14ページ設けられ、〔共通事項〕の指導に活用することができる。「混色のヒント／トーン別カラーガイド」は教科書から切り離すことができ、持ち運んで活用することができる。	P.118〜127、129〜132
		QRコンテンツ	各題材や巻末資料には適宜QRコードが掲載されており、関連するQRコンテンツとリンクしている。	教科書全般
			主要な「美術史ワード」や、大きく取り上げている作品や作家については、QRコンテンツで解説動画を視聴し、鑑賞を深めることができる。	教科書全般
			「鉛筆BOOK」および題材や資料の技法解説ページからは、それぞれの技法の解説動画を視聴することができる。また、〔共通事項〕や発想に関連する資料ページは、「三原色体感ツール」など、それぞれの学習を深めるためのコンテンツにリンクしている。	P.26、81〜88、89〜124
			主な表現や鑑賞の題材は、全国の生徒作品を掲載したQRコンテンツにリンクしている。多様な生徒作品を「作者の言葉」とともに鑑賞し、自分の表現に生かすことができる。	P.6、8、16、22、38、50、68、72
❸表記・表現および使用上の便宜	◎学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ◎用語・記号の取り上げ方や記述のしかた、活字の大きさ、行間などは適切か。	表記・表現	用語や表記は統一されており、記述のしかたも適切である。	教科書全般
			教科書に使用されているマークは、誰もが識別しやすい形や色で示されている。題材の随所には関連する巻末の資料ページを示したマークがあり、学習内容に関連した資料を活用しやすいよう工夫されている。	
		UD・特別支援教育への配慮	カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており、誰もが学習しやすいよう配慮して紙面がつくられている。	
			活字は鮮明で、読みやすい大きさ、フォントが使用されており、キャプションなどの比較的小さい文字にはUDフォントが使用されている。	
❹印刷・造本上の配慮	◎印刷の鮮明さ、製本などは適切か。 ◎環境保全への配慮がなされているか。	A4ワイド判（297 × 232mm）の紙面を生かし、観音開きのページや、2ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに、作品を細部まで鑑賞することができる。写真・図版も鮮明で効果的である。		教科書全般
		製本が堅牢である。表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。また、環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。		
❺総合所見	◎上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴。	学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され、幅広い表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案、表現と鑑賞の各題材で活用できる多様で豊富な資料、QRコンテンツなどが盛り込まれている。「美術の幅広い創造活動」を通して、「生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力」を育成するという「美術Ⅰ」の学習指導要領の目標に合致している。		教科書全般

令和8年度版教科書

検討の観点と内容の特色 高等学校用 美術2

種目	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
美術Ⅱ	美術2	38 光村	美Ⅱ 701	光村図書出版

項目	観点	特色・具体例		該当ページ
❶内容の選択・程度	◎学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ◎基礎的、基本的事項の理解や、その習得のため、適切な配慮がなされているか。	学習指導要領に示された「美術Ⅱ」の目標・内容を踏まえ、A 表現・B 鑑賞の題材がバランスよく、相互に関連を図りながら適切に配置されている。		教科書全般
		「美術Ⅰ」の学習を基礎にして、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成することをねらいとする「美術Ⅱ」の性格を踏まえて、学習内容が工夫されている。		
		日本や西洋の美術だけにとどまらず、幅広い地域や時代の作品が多角的に取り上げられており、生涯にわたり美術を愛好する心情を育み、感性と美意識を高め、美術文化について理解が深まるよう配慮されている。		
		各題材や巻末にまとめられた資料では、作品をつくるときの手がかりや基礎的な技法が具体的に示されており、これらを活用することで、生徒が主体的に学習に取り組み、基礎的、基本的な事項を身につけられるよう配慮されている。		
❷組織・配列・分量	◎内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。	題材	題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現の分野別に整理され、バランスよく配置されている。内容がひと目でわかるようインデックスで色分けされており、学習指導を進めるうえで使いやすいよう工夫されている。	教科書全般
			各題材では学習のねらいを示した目標が記されており、学習指導を効果的に進めることができる。	教科書全般
			「作家の手法」というページでは、生徒が作品の主題を生み出す手がかりとできるよう、作家の発想や制作過程が詳しく示されている。	P.4～5、23、30～31、40～41、46～47、51
			掲載作品のアイデアスケッチが題材の随所に掲載されており、生徒が作品の主題を生み出す手がかりとすることができる。	教科書全般
			鑑賞中心の題材「比べて鑑賞する」では、作品を比較鑑賞することで共通点や相違点について対話したり、それぞれの作品のよさを感じ取ったりするなど、実感的に理解を深めることができる。	P.6～7、42～43
		資料	色彩に関する巻末資料「トーン別カラーガイド」は、配色を考えたり、デジタルで色をつくる際に活用することができる。また、教科書から切り離すことができ、折りたたんで持ち運ぶことができる。	P.69～72
			写真に関する資料「写真撮影の基本」「写真を編集する」では、撮影の技法だけでなく、データを適切に編集して保存する方法を掲載しており、端末を使った学習にも活用することができる。	P.56～59
			「漫画表現の技法」では、実際の漫画作品の制作過程を例に、漫画制作の流れを学ぶことができる。また、多様な表現技法を用いた作品が紹介されており、幅広い表現に挑戦する手がかりとすることができる。	P.60～61
			「アニメーションの歴史」では、日本や世界のアニメーションの歴史が各時代のキーワードや図版とともに整理されており、アニメーションの誕生から 21 世紀のアニメーションに至るまでの流れを理解することができる。	P.62～63
		QRコンテンツ	各題材や巻末資料には適宜 QR コードが掲載されており、関連する QR コンテンツとリンクしている。両観音開きで掲載された「システィーナ礼拝堂」には、動画付きの音声ガイドが用意され、鑑賞を深めることができる。	教科書全般
			巻末資料「学習を支える資料一覧」の QR コンテンツでは、鉛筆デッサンをはじめ、水彩絵の具を用いた風景画や油絵の具を用いた静物画などさまざまな作品の制作手順が、動画で詳しく紹介されている。また、色の仕組みを理解するための色立体の解説動画や、美術史の用語の解説も見ることができ、知識を深めることができる。	P.66～67
			全国の生徒作品を掲載した QR コンテンツが、関連する題材とリンクしている。多様な生徒作品を鑑賞し、自分の表現に生かすことができる。	P.8、20、28、48
❸表記・表現および使用上の便宜	◎学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ◎用語・記号の取り上げ方や記述のしかた、活字の大きさ、行間などは適切か。	表記・表現	用語や表記は統一されており、記述のしかたも適切である。	教科書全般
			教科書に使用されているマークは、誰もが識別しやすい形や色で示されている。題材の随所には関連する巻末の資料ページを示したマークがあり、学習内容に関連した資料を活用しやすいよう工夫されている。	
		UD・特別支援教育への配慮	カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており、誰もが学習しやすいよう配慮して紙面がつくられている。	
			活字は鮮明で、読みやすい大きさ、フォントが使用されており、キャプションなどの比較的小さい文字には UD フォントが使用されている。	
❹印刷・製本上の配慮	◎印刷の鮮明さ、製本などは適切か。 ◎環境保全への配慮がなされているか。	A4 ワイド判（297 × 232mm）の紙面を生かし、観音開きのページや、2 ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに、作品を細部まで鑑賞することができる。写真・図版も鮮明で効果的である。		教科書全般
		製本が堅牢である。表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。また、環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。		
❺総合所見	◎上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴。	学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され、表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案、表現と鑑賞の各題材で活用できる資料などが盛り込まれている。「美術の創造的な諸活動」を通して、「生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力」を育成するという「美術Ⅱ」の学習指導要領の目標に合致している。		教科書全般

令和8年度版教科書

検討の観点と内容の特色 高等学校用 美術3

種目	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
美術Ⅲ	美術3	38 光村	美Ⅲ 701	光村図書出版

項目	観点	特色・具体例		該当ページ
❶内容の選択・程度	◎学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ◎基礎的、基本的事項の理解や、その習得のため、適切な配慮がなされているか。	学習指導要領に示された「美術Ⅲ」の目標・内容を踏まえ、A 表現・B 鑑賞の題材がバランスよく、相互に関連を図りながら適切に配置されている。		教科書全般
		「美術Ⅰ」および「美術Ⅱ」の学習を基礎にして、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成することをねらいとする「美術Ⅲ」の性格を踏まえて、学習内容が工夫されている。		
		日本や西洋の美術だけにとどまらず、幅広い地域や時代の作品が多角的に取り上げられており、生涯にわたり美術を愛好する心情を育み、感性と美意識を磨き、美術文化について理解が深まるよう配慮されている。		
		各題材や巻末にまとめられた資料では、作品をつくるときの手がかりや基礎的な技法が具体的に示されており、これらを活用することで、生徒が主体的に学習に取り組み、基礎的、基本的な事項を身につけられるよう配慮されている。		
❷組織・配列・分量	◎内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。	題材	題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現の分野別に整理され、バランスよく配置されている。内容がひと目でわかるようインデックスで色分けされており、学習指導を進めるうえで使いやすいよう工夫されている。	教科書全般
			各題材では学習のねらいを示した目標が記されており、学習指導を効果的に進めることができる。	教科書全般
			掲載作品のアイデアスケッチが題材の随所に掲載されており、生徒が作品の主題を生み出す手がかりとすることができる。	教科書全般
			鑑賞中心の題材「比べて鑑賞する」では、作品を比較鑑賞することで共通点や相違点について対話したり、それぞれの作品のよさを感じ取ったりするなど、実感的に理解を深めることができる。	P.12～15
		資料	「社会を支える美術の仕事」では、美術に関わるさまざまな職業が紹介されている。イラストを効果的に用いた紙面で、美術への興味・関心を喚起させ、キャリア教育につながる内容である。	P.30～33
			「ポートフォリオをつくる」では、作品集のつくり方が詳しく掲載されており、3 年間の学びの集大成として、卒業を控えた生徒が参考にすることができる。	P.34～35
			「美術館の役割」では、美術館の社会における役割や学芸員の仕事、企画展ができるまでの流れを学ぶことができる。	P.36～37
		QRコンテンツ	各題材や巻末資料には適宜 QR コードが掲載されており、関連する QR コンテンツとリンクしている。2 ページ大で掲載された「洛中洛外図屏風」には、動画付きの音声ガイドが用意され、鑑賞を深めることができる。	教科書全般
			巻末資料「学習を支える資料一覧」の QR コンテンツでは、鉛筆デッサンをはじめ、水彩絵の具を用いた風景画や油絵の具を用いた静物画などさまざまな作品の制作手順が、動画で詳しく紹介されている。また、色の仕組みを理解するための色立体の解説動画や、美術史の用語の解説も見ることができ、知識を深めることができる。	P.38～39
❸表記・表現および使用上の便宜	◎学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ◎用語・記号の取り上げ方や記述のしかた、活字の大きさ、行間などは適切か。	表記・表現	用語や表記は統一されており、記述のしかたも適切である。	教科書全般
			教科書に使用されているマークは、誰もが識別しやすい形や色で示されている。題材の随所には関連する巻末の資料ページを示したマークがあり、学習内容に関連した資料を活用しやすいよう工夫されている。	
		UD・特別支援教育への配慮	カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており、誰もが学習しやすいよう配慮して紙面がつくられている。	
			活字は鮮明で読みやすい大きさ、フォントが使用されており、キャプションなどの比較的小さい文字には UD フォントが使用されている。	
❹印刷・製本上の配慮	◎印刷の鮮明さ、製本などは適切か。 ◎環境保全への配慮がなされているか。	A4 ワイド判（297 × 232mm）の紙面を生かし、2 ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに、作品を細部まで鑑賞することができる。写真・図版も鮮明で効果的である。		教科書全般
		製本が堅牢である。表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。また、環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。		
❺総合所見	◎上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴。	学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され、表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案、卒業を控えた生徒の参考になる資料などが盛り込まれている。「美術の創造的な諸活動」を通して、「生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力」を育成するという「美術Ⅲ」の学習指導要領の目標に合致している。		教科書全般